

第 19 期（平成 26～28 年）第 3 回

公設地方卸売市場運営審議会議事録

日時：平成 28 年 9 月 28 日（水）午後 1 時 30 分～
場所：公設地方卸売市場青果棟 2 階 会議室

（開 会）

○事務局より

- 1 開会（伊藤場長）
- 2 部長挨拶（福原産業経済部長）
- 3 資料確認（木戸主査）

（議 題）

（石橋会長議事進行）

○報告事項

- 1 平成 27 年度市場事業会計決算及び取扱実績について
 - ・前年度との比較による決算状況の説明
 - ・過去 15 年のデータによる取扱量・取扱高の説明
 - ・各卸会社より平成 27 年度及び今年度の実績などについて報告
 - （水産）本年のさけの定置網は非常に不漁で昨年の 1/3 程度になると見込んでいる。その分、単価高傾向となり取扱高への影響は少なくなりそう。
 - （青果）ここ数年は何とか横ばいを維持しているのが現状。本年は台風の影響により全体的に作物が小玉傾向となっており、種芋等も被害にあっているため来年以降への影響も考えなければならない。
 - （花卉）花離れの影響から全国的に花卉業界は厳しく、生産者の高齢化も進み野菜にシフトしていく状況となっている。今後も気を抜かず頑張っていきたい。
- 2 第 10 次北海道卸売市場整備計画に係る「地域拠点市場」の設定について
 - ・設定までの経過及び「経営展望」策定までのスケジュール等の説明

○審議事項

- 1 市場のあり方について
 - ・市場長より概要の説明

(産業経済部長)

前置きとしまして、この資料は決定したものではなく色々な管理運営手段のうちの一つの手法を実施した場合の案であり、検討材料であることを補足します。

市場の指定管理者制度の導入は、他の指定管理とは異なり生鮮食料品の安心・安定供給が不可欠であるため、他の指定管理者制度の導入とは別物であると考えておりますので、委員の皆さんのご意見を頂戴し、検討を重ねてまいりたいと考えております。よろしくお願い致します。

(石橋会長)

委員の皆さんそれぞれの考え方をお聞きしたいと思います。

(菅原委員) マルトマ苫小牧卸売

基本的には指定管理導入に賛成です。経費の削減は使用料の減額にも繋がるものと考えている。あとは買受人等の使用者に迷惑がかからないように準備していただきたいこと、老朽化している建屋の対応をしていただきたい。

(石垣委員) 魚菜買受人組合

前向きに考えている。他の指定管理と違うのはさきほど部長がおっしゃったとおриだと思う。時期について今はまだ早いと思うが、今後どのように進めていくのかをこういう場で検討していかななくてはならない。

(大窪委員) 丸一苫小牧中央青果

取扱量が下降している今の時期になぜ民間に委ねるかが疑問。卸会社の経営状況を考え負担増は避けていただきたい。使用料が下がるというメリットがあればと思うが、卸としては市に力を貸してほしいと考えている。

(市町委員) 青果商組合

青果・花卉については現在の経営状況から考えると導入してもどうかと思っている。指定管理となっても経営に口を出せる体制を考えたほうがよりよいものと考えている。

(飯島委員) 青果仲卸協同組合

青果について中央が厳しい状況であることを良く聞く。導入によるデメリットが下まで反映されるとなると困るが、情報をきちんと公開することに検討を重ねることでサービスの低下とならないように考慮してほしい。

(島委員) 苫小牧中央花卉

使用料率を世間並みに下げてくれと15年前から言っている。他に比べると率が高く、指定管理に乗じて率を下げてきたのでは。経営体質がどうなのかを改善してからというのであれば良いと思う。今すぐでも使用料率を下げてほしいと考えているが、やるとなれば市の協力で導入と同時に率の低減

をお願いしたい。

(緒方委員) 婦人団体協議会

指定管理は良くわからないが、消費者の立場からスーパーで買い物していると野菜や魚は高いためどうしても肉に手が出てしまう。

(山内委員) 消費者協会

市内の店舗のどこが市場経由している店なのかが消費者には見えない。自分はイオンで買物をしないようにしており、市場流通の良さである安全をPRすることで販売の促進につなげたらどうかと思う。

(工藤委員) 町内会連合会婦人部会

自分も市場流通の良いところを前面に出した方が良いのではと思う。

(石橋会長)

食の安心・安全を考えると他の指定管理とは大きく違う。市のスリム化とサービスの向上というメリットはあると思うが水産・青果・花卉の3部門の経営基盤の強化というものも念頭においていただきたい。市が係わることで消費者の安心に繋がるんだということを考えて検討してもらいたい。市民・消費者の意見を反映できるように取り組んでももらいたいと考えているし、同時に建物の老朽化も含め検討してほしい。導入の時期について片方を先にやってしまうことで、なし崩しになることも考えられることから同時に導入が好ましいのではないかと。

(望月次長) 市場のあり方について頭出しをさせていただきましたが、あくまでも市場の安全で安定した供給を考え、生鮮食料品を取り扱う特殊性のある施設でございますので、皆様からいただいたご意見を踏まえ今後慎重に取り組んでまいりたいと考えております。経営の効率化だけではなく、市と市民・消費者の間での合意形成が大切であると考えております。

(部長) 市場の安定供給がわれわれの最大の使命であると認識しているところでございます。冒頭でも述べましたとおり、他の指定管理者制度の導入とは別物であり、これからも色々な管理運営手段を検討しなければならないと考えております。今日いただきました委員の皆さんのご意見を参考にさせていただきますながら検討を重ねてまいりたいと考えております。

○その他

1 審議会委員の公募について

- ・主査より資料に基づく説明